

平成19年10月25日

道路特定財源の確保について

要 請 書

自由民主党新潟県支部連合会

会	長	稲	葉	大	和
幹	事	石	井		修
総	務	三	林	碩	郎
政	務	小	野	峯	生

道路特定財源の確保について

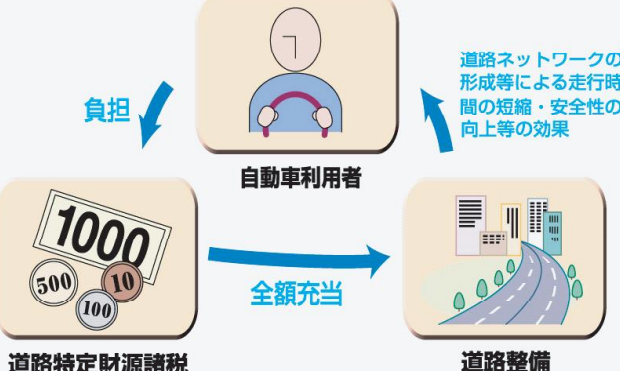
昨年末に閣議決定された道路特定財源の見直しに関する具体策においては、中期的な今後の具体的な道路整備の姿を示した計画の策定を平成19年中に行うと共に、道路特定財源の諸税のうち道路歳出を上回る税収に関しては一般財源化するとされていることは承知いたしております。

しかしながら、貴職もご承知のとおり、本県は広大な県土を有していることから急峻な山岳地帯と有数の豪雪地帯を数多く抱えており、県民からは生活に直結する道路整備に関する要望が一番多く寄せられており、我が党最大の政治課題となっております。

また、道路整備の重要性に関しては、本年6月に発生した中越沖地震をはじめ水害や中越大震災などの災害時における道路の崩壊、あるいは2年連続の豪雪災害時における交通途絶等において、数あるライフラインの中でも水や食糧の確保、緊急・救急医療、燃料輸送、通勤・通学等どれをとっても道路の確保が成されなければ出来ないことであり、道路が住民の生命の確保に直結していることが十二分に証明されております。

加えて、近年本県道路予算は大きく落ち込み、道路特定財源がほぼ一定の水準を維持していることにより、かろうじて予算を確保しているのが実情であり、道路特定財源の一般財源化による道路整備の縮減がなされた場合は、本県の道路予算は縮小せざるを得ず、道路整備に支障をきたすばかりではなく米国における高速道路の橋梁崩落事故等で注目されている維持補修費の捻出も難しくなり、県民の安全と安心の確保という我が党の政治の根幹にもかかわる重大な問題であると認識しております。

以上のことから道路整備の中期計画の策定に当たっては、県民の安全と安心の確保の観点から、地方が必要としている道路整備や維持管理に支障が生ずることの無いよう地方の声や実情に配慮すると共に、道路財源税収の全額を道路歳出に充当するよう強く要望いたします。



**道路特定財源の一般財源化は、受益者負担の基
本理念を踏みはずすものであり、地方の道路整
がさらに遅れることから、
地方の道路財源の
確保を図るべき**

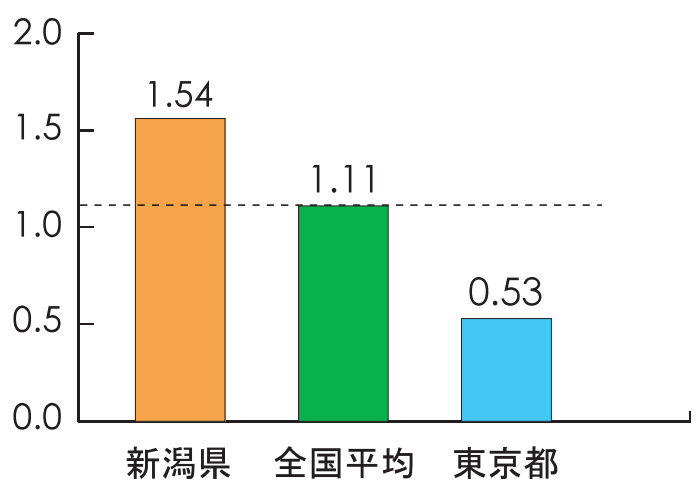
道路特定財源の確保について



道路特定財源はすでにあつた税金の一部を道路のために割いているのではなく、
道路を必要とする人に負担していただくという税制として、創税してきたものばかり。

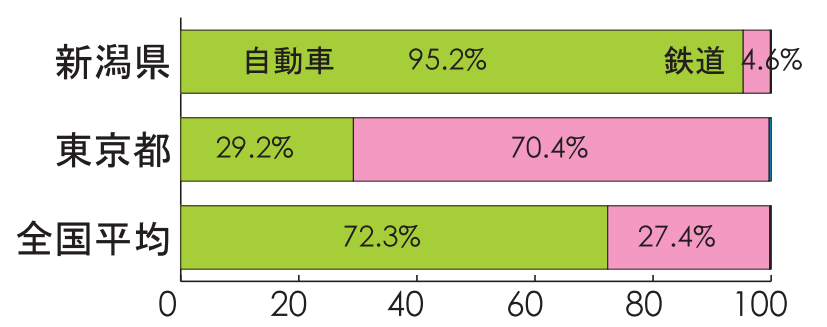
自動車への依存度が高い地方では、道路整備が遅れてしまうと、安全で安心な暮らしを守ることができなくなり、経済社会活動に大きな影響を及ぼすことが危惧され、地方と都市の格差が一層広がってしまう。

自家用自動車台数（台／世帯）



出典：都道府県別人口・世帯比別車両数
(平成18年3月末現在、国交省自動車交通局)

旅客輸送人員分担率（国内）（％）



出典：平成17年度 貨物・旅客地域流動調査分析資料
(国土交通省総合政策局交通調査統計課分析室)

平成19年10月

自由民主党新潟県支部連合会

安全に安心して暮らせる地域づくりを実現するために

1. 災害や雪に強い道路づくりの推進

日本有数の豪雪地帯、脆弱な地質等の自然環境により、通行規制が発生



平成16年中越大震災

平成18年豪雪

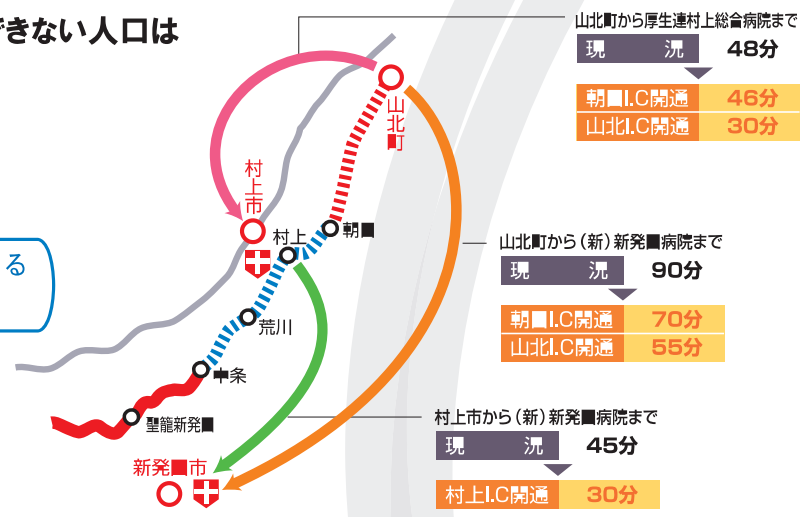
平成19年中越沖地震

救命救急体制を支援する

2. 命をつなぐ道路づくりの推進

30分以内に救急施設へ到達できない人口は約18% (約45万人)
※平成12年国勢調査人口で算出

日本海沿岸東北自動車道の整備による医療機関への搬送時間の変化



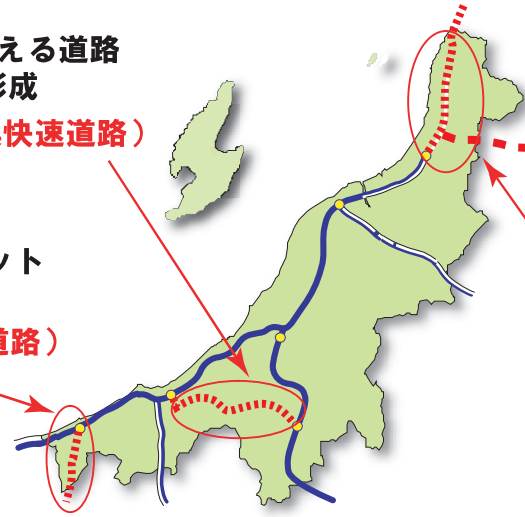
日本海側の基軸となる

3. 高速交通ネットワークの形成

豪雪地帯の生活を支える道路ネットワークが未形成
(上越魚沼地域振興快速道路)

松本地域と結ぶネットワークが未形成
(松本糸魚川連絡道路)

山形県と結ぶネットワークが未形成
(日本海沿岸東北自動車道、新潟山形南部連絡道路)

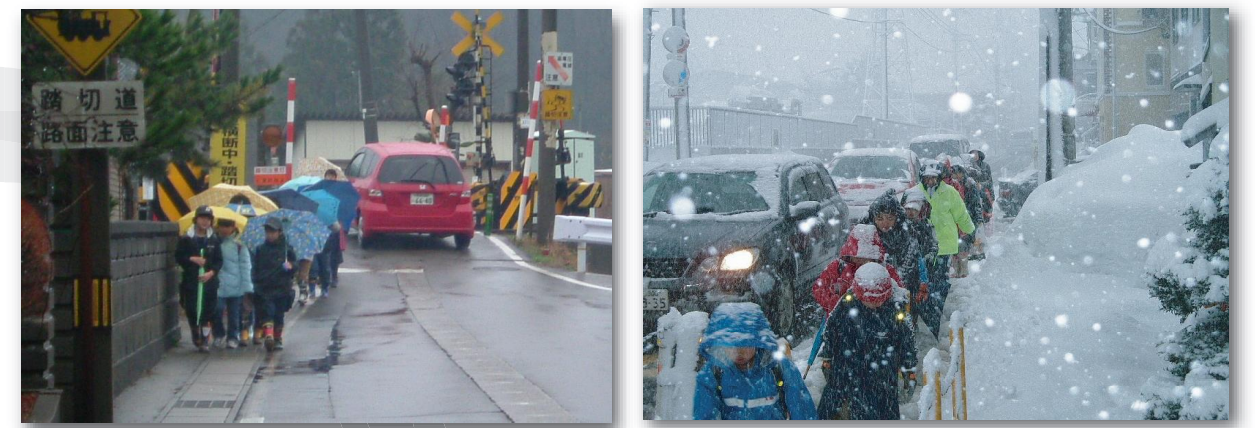


地方の道路整備の実情を十分踏まえ
道路財源の確保を図るべき

少子高齢化時代に相応しい

4. 人優先の道路づくりの推進

少子高齢社会を迎えるなか、高齢者の事故が増加



一般県道黒部柏崎線 (柏崎市)

主要地方道十日町六日町線 (南魚沼市)

物流機能や沿道環境の向上のための

5. 交流・物流拠点へのアクセス向上

自動車への依存度が高く、都市圏において激しい渋滞が発生



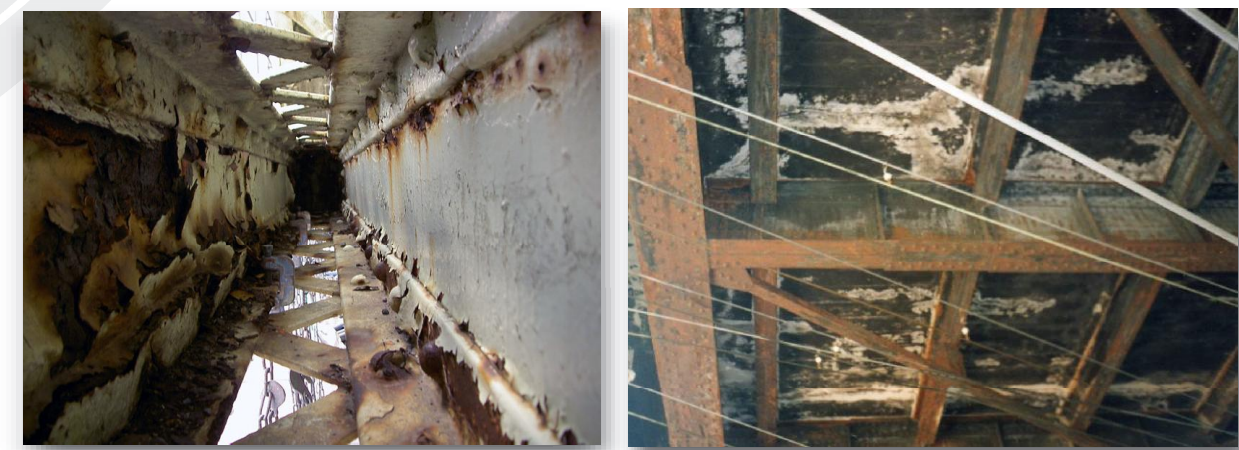
一般国道289号 (三条市)

一般国道351号 (長岡市)

組織体制づくりの支援と予算の確保による

6. 維持管理が重要性を増す時代への対応

日本海からの季節風、積雪環境下で道路構造物の老朽化が進行



長生橋 (長岡市)

御館跨線橋 (上越市)